

（ご近所）のみなさん、こんにちは（おはようございます、こんばんは）。日本共産党です。ただいまからこの場所をお借りしまして、政策の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をよろしくお願いいたします。

みなさん、イラクでの日本人3人の人質は、無事に解放されました。みなさんとともに、心から喜びたいと思います。ところがみなさん、自民党や公明党は、人質になった3人が悪い、「自己責任だ」と言い始めました。アメリカの国務長官さえ3人の行動を誇りに思うべき、と言っているのに、「自己責任」というなら、憲法九条を踏みじり、NGOやボランティアの人道支援活動を、かえって危険と困難にする自衛隊派兵こそ、「自己責任」が問われるのではないでしょうか。日本共産党は、自衛隊のすみやかな撤退を要求します。

さてみなさん、富津市議選がいよいよ明日、投票日を迎えます。今度の選挙は、81億円もかけた豪華庁舎など、これまでのムダ使いのツケを、市民に回すような政治をやめさせ、市民の暮らしを応援する市政に変える選挙です。

日本共産党は岩崎二郎市議会議員を先頭に、次のお約束実現のために、全力をあげます。

まず第一に、高すぎる国保税の、一世帯当たり二万円の引き下げをめざします。これまで市は、財政難だと言って、高い国保税や水道料金、学校給食の値上げなど、市民に負担を押しつける一方で、行政サービスをどんどん削ってきました。こうした市民生活の犠牲で、富津市の財政力は、いまや全国トップクラスです。国保会計も黒字で、積立金も五億円以上あります。国保税二万円引き下げの財源は二億円です。その気になれば必ずできます。

二つ目は、特養ホームの増設と、六歳までの医療費の窓口無料化で、お年寄りも若者も安心の富津市をめざします。

三つ目は、図書館の建設です。県内の市で、図書館がないのは富津市だけです。みなさんと力を合わせて、ぜひ、図書館建設の計画を作らせましょう。

四つ目は、都市計画税導入の撤回です。みなさん、この地域では、なんと一世帯六万円にもなる、都市計画税が導入されようとしています。とんでもありません。なんとしても、撤回させるために全力をつくします。

佐貫以南除く

みなさん、いまの富津市議会はどうでしょうか。日本共産党の市会議員以外は、市長といっしょになって、第三空港など、いまだに、見通しのない大型公共事業に、市民の税金を注ぎ込もうとしています。その一方で、国保税引き下げなど、市民の声には冷たい市議会です。

銀行員出身の日本共産党議員は、市政のムダ使いをきびしくチェックし、富津市の豊かな自然と、暮らしを守るために全力でがんばります。国保税引き下げなど、市民のみなさんの願い実現のために、誠実に献身する、かけがいのない議席、日本共産党の議員を、これから、議会で働かせてください。

最後に、真実を伝え、希望を運ぶ、日本共産党の「しんぶん赤旗」、岩崎二郎市議会議員の活躍も伝える、「しんぶん赤旗」のご購読をお願いいたしまして、訴えを終わらせていただきます。ご清聴・ご協力ありがとうございました。